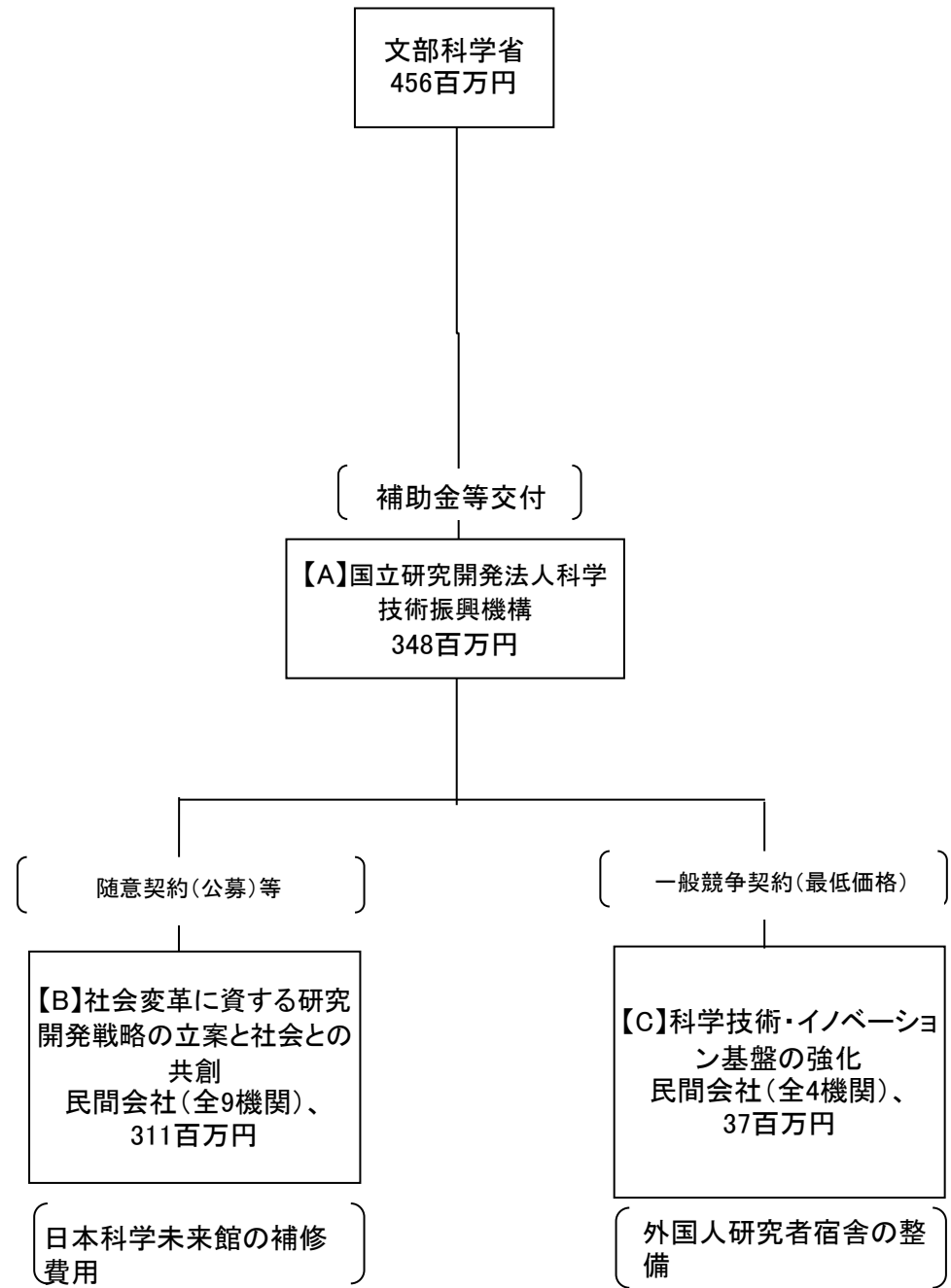


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	国立研究開発法人科学技術振興機構施設整備に必要な経費			担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者
事業開始年度	平成21年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課		人材政策課長 生田 知子
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国立研究開発法人科学技術振興機構法			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)		
政策	7. Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策 7-1 知的フロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化 7. 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	7-1 価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成 7-2 様々な社会課題を解決するための総合知の活用 7-3 科学技術の国際活動の戦略的推進						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	科学技術振興機構(JST)が設置する施設の整備・充実を図るために要する経費を補助することにより、第6期科学技術・イノベーション基本計画に定める事業等の着実な実施を図り、もって科学技術の振興に資することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	科学技術振興機構は、科学技術の振興を図ることを目的とする国立研究開発法人であり、これまで各期の科学技術基本計画や第6期科学技術・イノベーション基本計画の下、当該計画の中核的な役割を担う機関として、自らの研究開発戦略立案機能を活用しつつ、ファンディングエージェンシー機能を発揮することにより、国立研究開発法人や大学、企業等と協働した研究開発推進体制を構築するネットワーク型研究所として、我が国の研究開発成果の最大化に貢献してきた。国内外における情勢変化等を踏まえつつ、第6期科学技術・イノベーション基本計画に示された「国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革」、「知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化」、「一人ひとりの多様な幸せ(well-being)と課題への挑戦を実現する教育・人材育成」に沿った取組が求められる。						
事業概要 (5行程度以内)	科学技術振興機構に対して、以下の取組を実施するための経費を補助する。【定額補助】 ・日本科学未来館の整備(空調用機器、自然排煙設備、受配電設備の更新 等) ・外国人研究者宿舍の整備(給湯設備及び消防設備の更新 等)						
事業概要URL	https://www.jst.go.jp/all/jigyoku/						
実施方法	補助						
補助率等	定額補助【補助率:100%】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	189	-	-	403	146
		補正予算(B)	207	456	664	771	
		令和5年度第1次補正予算				771	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	777	207	456	664	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 207	▲ 456	▲ 664	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	966	207	456	1,838	146	
	執行額(G)		966	207	456		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		244%	45%	69%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	国立研究開発法人科学技術振興機構施設整備費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
		(目) 国立研究開発法人科学技術振興機構施設整備に必要な	403	146			
		その他					
	計(A)		403	146			

活動内容① (アクティビティ)		機構の業務を効果的・効率的に推進するため、老朽化対策を含め、施設・設備の改修、更新等を重点的かつ計画的に実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		施設・設備の改修、更新等を通じた事業の効果的・効率的な推進	施設の整備数	活動実績	件	5	1	2	－	－	
				当初見込み	件	5	1	4	5	4	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	アウトプットで記載した活動目標について、毎年実施する年度評価において、「研究開発成果の最大化」及び「適正、効果的かつ効率的な業務運営」に向けて外部委員からの公正で客観的な意見も取り入れながら評価を受け、評価は業務運営上の課題の把握・改善等にも資することから、短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度		
		独立行政法人通則法で定められている年度評価において標準評価以上を目指す。	評価結果(B評定を標準(所期の目標を達成していると認められる状態)の100%とし、A評定を120%、C評定を80%として記載する)	成果実績	%	－	－	120	－		
				目標値	%	－	－	100	－		
				達成度	%	－	－	120	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の各年度における業務の実績に関する評価									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	短期アウトカムである年度評価の結果を総合して、中長期目標期間の終了時において、外部委員からの公正で客観的な意見も取り入れながら、「研究開発成果の最大化」及び「適正、効果的かつ効率的な業務運営」のため、中長期目標期間における中長期目標の達成状況について評価されることから、長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8 年度		
		独立行政法人通則法で定められている中長期目標期間において標準評価以上を目指す。	評価結果(B評定を標準(所期の目標を達成していると認められる状態)の100%とし、A評定を120%、C評定を80%として記載する)	成果実績	%	－	－	－	－		
				目標値	%	－	－	－	100		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国立研究開発法人科学技術振興機構の中長期目標期間における業務の実績に関する評価									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称																													
	URL																													
	該当箇所																													
事業所管部局による点検・改善																														
点検結果	国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争を実施し、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式で調達を行っている。																		目標年度における効果測定に関する評価（令和9年度実施）											
																			-											
改善の 方向性	引き続き、契約の競争性・透明性確保に努めつつ、科学技術イノベーションの推進を支える中核機関としての取組を進める。																													
外部有識者の所見																														
外部有識者による点検対象外□																														
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																														
事業内容の 一部改善	本事業は、事業としては計画的に執行がなされているところであるが、事業の性質上今後も工事発注等が続くと考えられるため、引き続き契約の競争性・公平性・透明性の確保に向けた取り組みを継続していく必要がある。□																													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																														
執行等改善	調達等合理化計画を策定し、契約の競争性等の確保に向けた継続的な改善及び法人評価での評価を毎年実施している。引き続き効果的・効率的な事業実施に取り組む。□																													
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																													
	-																													
	上記への対応状況																													
	-																													
	その他の指摘事項																													
	-																													
	上記への対応状況																													
	-																													
備考																														
・支出先上位10者リストにおいては、落札率は同種の他の契約の予定価格を類推させる恐れがあるため非公表としている。																														
関連する過去のレビューシートの事業番号																														
平成23年度	214																													
平成24年度	233																													
平成25年度	186																													
平成26年度	184																													
平成27年度	174																													
平成28年度	177																													
平成29年度	180																													
平成30年度	181																													
令和元年度	文部科学省	-			0175																									
令和2年度	文部科学省				0176																									
令和3年度	2021	文科		20	0190																									
令和4年度	2022	文科		21	0188																									

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。
※金額は、単位未満四捨五入して記載していることから合計が一致しない場合がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

